

進路ガイダンスの開催 ～2年次からの系列選択に向けて～

10月14日に1年生の『産業社会と人間』の授業において「系列別・分野別進路ガイダンス」を開催しました。『産業社会と人間』は、自分の生き方を探究させるという観点から自己啓発的な体験学習を通して職業選択を決定するのに必要な能力や態度を養うことを目標としており、総合学科では、原則的に1年次に履修する科目として位置づけられています。本校では、将来のライフプランを考え、その実現に最も近い系列選択をさせていく上で重要な科目となります。

本校の総合学科は、令和4年度入学生（1年生）から4つの系列となり、その内「農業と暮らし」、「食と子ども」系列はさらにそれぞれ2つのモデルに分かれます。（右図）系列・モデル選択の一助とするために今回進路ガイダンスを行いました。

20の短大や専門学校等の講師の方にガイダンスをしていただきました。2時間続きで実施し、最初の1時間は、教室を使い系列やモデル別に説明を受けました。後半の1時間は、体育館で職業分野別に15のブースに分かれて具体的な職業について説明を受けました。希望するブースを2つ選択して聞きましたが、自分で選んだ興味・関心のある分野なので真剣に聞いていました。

講師の方も、資料を持参していただき、生徒目線でわかりやすく説明していただきました。本当にありがとうございました。

また、10月13日と17日には2、3年生の先輩たちの各系列の授業見学も計画されています。今回の進路ガイダンスとあわせて、自分の興味・関心・適性も考慮しながら将来のライフプランを立ててくれることを期待しています。

そして系列選択の**保護者説明会を11月10日に予定**しています。最終的な系列選択は、保護者の方と十分に話し合っ決めて欲しいと思います。

